

ナフム預言書

ナフムはヨナより百年ばかり後、即ちキリスト紀元前七世紀の中葉、六百四十年頃、ニニヴェ滅亡の三十年前世に在つて、そのことを予言した人である。

ヨナもニニヴェの滅亡を予言したが、市民はその後改心したので、天主から赦され、天罰を止めていただくことができた。しかしナフムの予言には赦しることが少しもない。

ナフムの故郷はエルコシユであつた。ヒエロニモはその所在地をガリレアとしているが、これは異説もあり、確かではない。

第一章

ニニヴェとユダとに対する天主の御裁き

一ニニヴェに對する重荷。1) エルコシユ人ナフムが見し
 幻象の書。ニ主は熱愛する神にして仇を復す者、主は仇
 を復す者にして忿怒を抱く者、主はその敵に仇を復しそ
 の仇に憤怒を發する者にて在す。2) 三主は氣長にして、力
 強く、必ず潔めて罪なき者とせずしては措き給わじ。主

第一章 1) 賽一三・一。耶二三・
 三三とその註参照。—2) 主は限り
 ない正義のお方であるので、償い
 のすんでいない悪を罰せずにおく
 ことはお出来にならない。

四 は疾風と旋風との中を進み給う。雲はその御足の塵なり。彼海を叱咤し
 て之を涸し、河川を悉く荒地とならしめ給う。よりてバサン及びカルメル
 は衰え、リバノンの花は凋めり。五 彼によりて山々は揺ぎ、丘々は荒れた
 り。その御面前にては地も、世界とその中に住むすべての者も、震えり。
 六 その御憤怒に面いては、誰か堪うるを得ん。その御忿怒の烈しきには、
 誰か抗るを得ん。その御憤怒火の如く注ぎて、巖もその御前に熔けたり。
 七 主は慈しみ深く在して、艱難の日に力を与え、彼に依頼む人々を知り給
 うなり。八 彼漲り渡る洪水によりてその処を滅ぼし尽し給わん、その敵は
 暗闇の追う所となるべし。九 汝等主に対して何事を企むや。彼自ら滅ぼし
 尽し給わん、かくて患難再び起ることあらじ。一〇 それ、共に飲む者の酒
 宴⁴⁾は、茨が互に絡み合う如し。彼等は全く乾きたる切株の如く焼き尽さ
 るべし。一一 主に対して悪しき事を思い立ち、その心に邪曲なる事を企む
 者、汝の中より⁵⁾出でん。一二 主かく云い給う、彼等は全くして、かくも数

3) バサン、カルメル、リバノンは、最も肥えた美しい地帯を表わすために、諺のようにつてある。——4) 敵軍アツシリアをナフムは酒宴に譬えてい
 る。——5) 一〇節の酒宴から

多かりしかど、なお且かく剪除かれて失せ去るべし。我汝⁶⁾を打ちたる上は、最早汝を打つことあらじ。三しかして今我彼が汝の背を打ち

しその杖を折り、汝の絆を断ち切らん。一四主汝⁷⁾に就きて命を下さ

ん、汝の名の胤は最早播かれざるべし。我汝の神の家より彫物及び鑄

物の像を滅ぼし去り、汝の墓を用意せん、そは汝誉を失いたればなり。

一五視よ、⁸⁾福音を伝え平和を告ぐる者の足、山々の上⁹⁾にあり。ユダよ、

汝の祝祭を行い、汝の誓願を果たせ、そは最早累ねてベリアル⁹⁾の汝の中を通らざるべければなり。彼は全く滅びたり。

第二章

ニニヴェエ滅亡の予言

一 滅ぼさんとする者汝を囲みて見張らんと、¹⁾ 汝の前に上り来れり。

道を窺い、腰を強くし、大いに力を養え。ニそれ、主はイスラエルの

高きが如くに、ヤコブを高さ²⁾に復し給えり、そは却掠者等彼等を逐

6) イスラエル。

7) アツシリア国。

8) 賽五二・七に倣

つたもの。——9) 語

原からいえば、こ

のヘブレオ語の名

前は「無価値」の

意。ニニヴェエをさ

す。

第二章 1) 寄せ来

る敵はメデア人と

バビロニア人。

2) ヴルガタ原語

三	い散らし、その枝 ³⁾ を害いたればなり。三その勇士等の楯は火
四	の如く、軍人等は紅を着たり。その軍備をする日には、戦車の手綱火と燦き、之を御する者等茫然たり。四彼等は途にて狼
五	狽えさわぎ、戦車は巷にて互に衝突れり。その状炬火の如く、馳せ交う電光の如し。五彼その勇士等を思い出さん、彼等はそ
七六	の途を馳せゆき、速にその ⁵⁾ 石垣に登りて、掩蓋を備えん。六河川の門は開かれ、 ⁶⁾ 宮は基まで毀たれたり。七軍兵は擒わ
八	れ引かれたり、その婢等 ⁷⁾ は鳩の如く呻き、その心に啣ちながら追い立てられたり。八ニニヴエはその水池の水の如し。され
九	ど人々は逃げ去れり。「踏み止まれ、踏み止まれ！」 ⁸⁾ されど引返さんとする者一人だになし。九汝等銀を奪い、金を奪え、 ⁹⁾
一〇	諸々の好もしき器などの財に限りなし。一〇そは ¹⁰⁾ 滅びたり、裂かれたり、寸断せられたり。心怯れ、膝抜け、腰悉くその力

「superbia」。—³⁾葡萄の。イスラエルが旧約聖書中によく出てくる葡萄畑に譬えてある。—⁴⁾七十人訳は「騎兵たち激してそこより馳せかかる」。—⁵⁾ニニヴエの。—⁶⁾碑銘からわかるように、ニニヴエは河の方にも門を有していた。そこには王宮もあつた。—⁷⁾今まで貴婦人であつたのに下婢にされた人たち。—⁸⁾逃亡者に対する号令。—⁹⁾勝つた者への呼びかけ。—¹⁰⁾敗戦後のニニヴエ。

二 を失う。すべての人の面は黝みたる釜の如し。二獅子¹¹⁾の棲処今何処にかある。若獅子の餌食を啖う処何処にかある。獅子若獅子と共に此に赴き、そこ¹²⁾に入らんとせしが、彼等を追ひ払う者なかりき。三牡獅子はその仔等が飽き足るばかり物を捕え来り、その牝獅子の為に物を殺し、獲物もてその穴を、奪い来し物もてその臥処を満たせり。

一三 三万軍の主云い給う、視よ、我汝の許に至る、我汝の戦車を焼きて煙となさん。汝の若獅子は劍之を啖うべし。我汝の獲物を地より絶やさん、汝の使者等¹³⁾の声は最早聞ゆることなかるべし。

第 三 章

ニニヴェ滅亡の惨状

一 禍なるかな、あまねく虚偽と暴虐との充ち満てる、血の都市。掠奪の汝を去ること
 二 あらじ。三鞭の音、車輪の軋る響、馬の嘶く声、戦車の駛る轟音、騎兵の馳せ上る騒音、
 三 また輝く劍と燦く槍との響、衆くの人々の殺さるる叫声、恐ろしき崩壊の音す。屍体数

11) ニニヴェ。それは獅子のように強かつたから。また獅子は度々アツシリアの記念碑に刻んである。——12) 負けた国々。——13) 命令を伝えるべき王からの使者。

四 限りなし。人々その死体に躓き倒れん。四是、眉目美わしく姿優しくして、魔術を行う売女¹⁾の淫行多かりしが故なり。そはその淫行によりて諸国民を、その魔術によりて諸族を売りぬ。五万軍の主云い給う、視よ、我汝に至る、²⁾我汝の恥すべき所³⁾を汝の面前に露し、汝の裸体を諸民に、汝の恥辱を諸国に示さん。六我また憎むべき物⁴⁾を汝の上に投げつけて汝に侮辱を加え、汝を見せしめとなさん。七しかしてかくならん、汝を見んほどの者は悉く汝を避けて逃げ、「ニニヴェは荒れ果てたり」と云うべし。誰か汝を悼みて頭を振らんや⁵⁾。我何処より汝を慰むる者を求めんや。八汝は、河川の間⁶⁾にありて民多きアレクサンドリアに優るや。是はその周囲に水あり、その宝は海にして、その垣は水なり。九その力はエチオピア⁷⁾及びエジプトにし

第三章

1) 偶像礼拝を行なつたニニヴェ。——2) 預言書にたびたび出てくる威嚇警告の言い方。3) 着ている立派な衣服を取り去れば他の人と同様な隠し所が現われる。——4) ヘブレオ語本「けがらわしき物」。——5) 同情と悲しみとの身振り。——6) ナイル河畔のノ・アンモン。ナイル河は海に注ぐ時いくつにも分れているので、複数にしてある。この町は西紀前六六四年から同四六二年までアツシリアに占領されていた。——7) アンモンはタラカ王のエチオピアによつて護られた。その軍勢の中にはエジプト人やリビア人もいた。

一〇 て、限なし。アフリカ及びリビアは汝の援助者なりき。一〇されど是もまた捕虜となりて異郷に引かれ、その幼児等はすべての街の頭にて投げ砕かれ、その貴き人々は籤取りにせられ、その偉大なる人々は足械に繋がれたり。

二 二されば汝もまた酔い痴れて、見さげらるるに至らん、汝敵を防ぐに助けを求むることあるべし。三 汝の砦は皆、早生の果を付けし無花果樹の如し。之を揺る時は、その果落ちて食する者の口に入らん。三 視よ、汝の民

一四 は手弱女となりて汝の中にある。汝の国の門という門は汝の敵に向かいて広く開かれ、汝の門は火の焼き尽す所となるべし。一四 汝己が為に水を汲みて包囲に備え、汝の砦を築け。粘土の中に入りて踏み、之を捏ねて煉瓦

一五 を造れ。一五 其処にて火汝を焼かん。汝は剣に亡ぶべし、そは甲虫の如く汝を喰い尽さん。汝甲虫の如く集わば集え、蝗の如く多からば多かれ。

一六 汝は己が商品¹⁰を天空の星よりも多くしたり。甲虫は翅を拡げて飛び去れり。¹¹ 一七 汝の監督者等¹²は蝗の如く、汝の小役人等は寒き日に垣に留ま

8) ニニヴェエ。
9) 汝が固めの工事をしている間に。

10) ヘブレオ語本「商人たち」
11) ニニヴェエから搾取する。

しかしだれもそこにいなくなる時が来る
12) 下の役人たち。

一八
るいなごむれの群むれの如ごとし、¹³⁾日昇ひのぼれば、飛とび去さりて、その居おりし処ところを知る者ものなし。

一九
一八
アツシリアの王おうよ、汝なんじの牧者ぼくしやら等は睡ねむれり、汝なんじの諸侯きみたちは葬ほうむられん、汝なんじの民たみは山々やまやまに隠かくれたり、しかも彼等かれらを集あつむる者ものなし。一八
汝なんじの滅亡ほろびは隠かくれなし。汝なんじの傷きずは重おもし。汝なんじの風聞うわさを聞ききたる者ものは皆みな、汝なんじに就つきて手てを拍うちたり。それ、汝なんじの悪行あくぎようは誰たれの上うえにか恒つねに及およばずしてやみたる。

¹³⁾ 圧迫する者が多い。